

STETS 推奨英語学習法その1 必要な内容・難易度の英文を用いた4技能トレーニング

英語学習法の一例

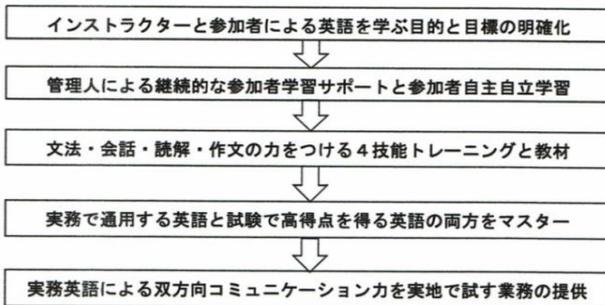
SATO OFFICE
Licensed Guide-Interpreter & Travel Service Provider



英語インストラクター・スペース管理人 佐藤毅己 (タキ SATO)
携帯 090-2698-4113 eメール yijizuoteng36@gmail.com
〒004-0052 札幌市厚別区厚別中央 2 条 6 丁目 6-2-1003

Name: _____

参加者の志(こころざし)の達成に向けた主体的英語習得をサポートします。
当スペース参加者の英語習得～5つのステップ～



0. 各自の目標に適する1ページ完結の英文を選ぶ。

【理解 → 聞いて読んで、理解度アップ】

1. 選んだ英文を聞いて理解する。
2. 選んだ英文を読んで大まかに理解する。
3. 選んだ英文を読んで細部まで理解する。

【内在化 → 脳を音声で「英文漬け」に】

4. 音読 (1文毎ゆっくり→徐々に速く)
5. オーバーラッピング (英文を見ながら、講師やCD等の音声を真似て音読練習)

6. シャドーイング (英文を見ずに、講師やCD等の音声のみを頼りに真似て音読練習)

【発信 → 内在化した英語を使って表明】

7. 要約 (英文の内容を自分の英語で語る。)
8. 意見 (英文の内容について意見を言う。)
9. ライティング (自分の意見を書く。)

目的: _____

目標: _____

(以上は会員証原稿です。目的と目標を各自記入します。)

※使用テキストの例「北海道 500 万人英会話プロジェクトー英語で話そう北海道ー (無料配布済み)

STETS 推奨英語学習法その2 2～3人で行う PPG/P トレーニング

STETSが行うアクティブラーニングの特色

- STETSが英文法指導で多用しているのは3人ワーク。次いでペアワークである。
- STETSが自由英会話やプレゼントレーニングで多用しているのは3～4人ワークである。



- 1 A解答者、B出題者1、C出題者2、で開始する。
- 2 1回5分で役割交代すれば計15分で終了する。
- 3 1回の時間の長さや回数(3回、6回)は、指導者が適宜設定する。
- 4 出題者1が出題の間に、2は次の出題を準備。
- 5 出題者1は解答者が詰まったら1ヒントを出して解答を促す。解答を示した後、出題者2が次の出題。
- 6 一番学習効果が高いのは教えること、という考えに基づき、教師役(出題者)を2人に行っている。
- 7 解答者は出題者2人から次々出題されることで、スピード感をもって解答に取り組める。

- 学習者と指導者の1対1指導の場合は、内容が適切な教材でさえあれば、どのような形式の教材でも応用可能である。
- 中高生の場合、問題の解答や説明の筆記は学校の授業で行わせ、学校の授業を無駄にさせない。→定期試験対策

※PPG/Pとはパターンプラクティスグループ/ペアトレーニングの略です。春の西岡福住講座でも実施しました。

※使用テキストの例「大人のスマート英会話」春の西岡福住講座で各自購入していただき使用したものですので皆さんお持ちです。

※STETS は、英検1級・全国通訳案内士試験（英語）の合格者会員に、英語実務現場での就業機会を提供するなどして、お客様から高評価を得られる双方向コミュニケーション力の体得をサポートします。

佐藤毅己さん

さとう たけき / 大学卒業後、北海道立高等学校に英語科教諭として勤務。2001年に通訳案内士試験を受験し、合格。2014年から私立高校の教諭となり、兼業許可を得て、2017年に通訳案内士試験に合格。同年、旅行関連事業所「通訳ガイド・旅行サービス手配SATOオフィス」を設立。コロナ禍では、観光を学ぶ学生向けの講座や英語講座を開講。現在も、ガイド業、ツアー企画、ガイド紹介、講座開講など、旅行関連の事業を継続中。



エリア	北海道
通訳ガイド資格	英語
仕事を得るルート	旅行会社からの受注、所属団体や同業者からの紹介、海外顧客からの直接受注

INTERVIEW

多様化する通訳ガイドの働き方 04

HOKKAIDO



自家用車使用ツアーが好評 教員経験を生かし講師業務も

「皇太子殿下（当時）主催のお茶会や、開会式に随行する中で、自らの通訳案内業務に手こたえとやりがいを感じ、ガイド紹介や、英語ガイド付きツアーの企画をする事業のスタートを決意しました」

現在ガイド業の受注ルートは、国内旅行会社からの受注が5〜6割、所属団体や同業者からの紹介が2割、海外顧客からの直接受注が2〜3割だ。中でも、直接受注の割合が増加傾向にある。

自家用車使用ツアー 活用で個人受注増

2024年、通訳案内士が自家用車やレンタカーに旅行客を乗せ、自ら運転することが認められた（*）。北海道在住の通訳ガイド、佐藤毅己さんは、これを新たなビジネスチャンスとして捉え、可能な範囲で自家用車使用ツアーも実施している。

2017年に立ち上げた旅行関連事業所を経営しながら、通訳ガイド業務を年間100日程度、ガイド関連の講師業務を120日程度行っている。

佐藤さんは教員として働きのながら、2001年に通訳案内士試験（現在の全国通訳案内士試験）に合格。勤務先の私立高校で兼業許可を得て、17年の冬季アジア札幌大会公式通訳者としてIOC委員（ゴールドメンバー）をアテンドした。「皇太子殿下（当時）主催のお茶会や、開会式に随行する中で、自らの通訳案内業務に手こたえとやりがいを感じ、ガイド紹介や、英語ガイド付きツアーの企画をする事業のスタートを決意しました」

自らも現場に立ちつつ 人材育成にも寄与したい

佐藤さんの担当する北海道内のロングツアーでは、東南アジアからの観光客が多いという。一方、道内各港でのクルーズ寄港地ツアーではアメリカ、カナダ、オーストラリア、イギリスからの観光客が多数を占めている。

「冬は北海道のスキー場や冬まつり



小樽運河と堺町をガイド中の佐藤さん（右）

「自家用車使用ツアーが解禁されたため、ガイド業務に活用しています。公共交通機関より効率的に各観光地を回ることができ、ドライバー付きの乗用車を別に手配するよりもお客様の経済的負担が少なくなります。私が「Tourist By Car」経由で受注した自家用車使用ツアーのレビューが例外なく高評価で、それを見たお客様から直接申込をされるケースが増えています」

自家用車は、札幌市内や近隣地域での使用にとどめ、道路状況の悪い冬場の使用は避けている。加えて、同乗者保険含め自動車保険はフルサポートに加入し、巻き込まれ事故にも遭わないよう十分に気をつけて運転するなど、安心・安全対策には万全を期している。

が目的のお客様を担当することが多いです。冬季以外は東京、大阪、京都と組み合わせた旅程の一部分として北海道に来たというFITや小口団体のお客様を多く担当しています」

北海道在住の佐藤さんだが、繁忙期には本州、四国、九州にまで出張する状況が続いているという。

「繁忙期はローカルガイドだけではカバーできないほど通訳ガイド需要が高いです。今後も需要は増加し続けるのではないのでしょうか。これからは自らもガイドの現場に立ちつつ、やる気と素養のある人材が全国通訳案内士試験に合格し、ガイド現場で高評価を得るまでの指導体制を確立し、優れたガイド人材の輩出に寄与したいと思っています」

インバウンド盛隆の今 売れっ子ガイドになるには

双方向コミュニケーション力を養成する

一方的に英語で情報を並べるのではなく、お客様との会話のキャッチボールができるスキルが必要です。お客様同士の会話にも耳を傾け、必要に応じてその内容を拾ってガイディングに盛り込むことができると良いと思います。このスキルを私は「双方向コミュニケーション力」と呼んでいます。養成のためには、日本事象や国際事象の広く深い理解と、それらを簡潔に説明できるスキルを日常的なトレーニングを通じて磨くことが大切です。

（*）「道路運送法における許可又は登録を要しない運送に関するガイドラインについて」国土交通省、2024年3月

一方的に英語で情報を並べるのではなく、お客様との会話のキャッチボールができるスキルが必要です。お客様同士の会話にも耳を傾け、必要に応じてその内容を拾ってガイディングに盛り込むことができると良いと思います。このスキルを私は「双方向コミュニケーション力」と呼んでいます。養成のためには、日本事象や国際事象の広く深い理解と、それらを簡潔に説明できるスキルを日常的なトレーニングを日常的なトレーニングを通じて磨くことが大切です。